

医学教育部改革、世界のトレンド： 地域医療教育を中心に



◆講師: 吉村 学 先生

(宮崎大学医学部地域医療

・総合診療医学講座／教授)

Prof. Manabu Yoshimura

(University of Miyazaki, Department of Family Medicine and Community Health)

◆日時: 平成28年5月18日(水) 17:30～ May 18 (WED) from 5:30 p.m.

◆場所: 医学教育図書棟3階 第2講義室

Lecture room 2, Medical Education & Library Building 3F.

医学部における卒前教育の改革が進んでいる。世界の中で医学教育をリードしてきた米国もこの2年ほど急ピッチで、オスラー以来100年以上続く臨床教育を中心とした伝統的な医学生教育の見直しを進めている。なぜそのようになってきたのかというと、現実社会の大きな変化が激しいため社会から求められる医師像が確実に変わっているにも関わらず、従来型の人材しか輩出していないギャップに基づいている。プライマリ・ケアを担う医師数の圧倒的な不足、多職種連携ができる人材、個々の患者だけでなく地域全体をケアできる医師、質改善やリーダーシップをとることのできる人材がつよく求められている。先生役を医師だけでなく患者や多職種を巻きこんで行うことや、真性の評価を臨床現場で行う工夫と省察しながら生涯にわたって学び続ける技能により重点を置いた教育へ大きくシフトしている。我が国でも、宮崎でもこうした点を取り入れるべく努力している。今回の講義ではこうしたトレンドや演者のこれまでの取り組み、宮崎に着任してからの取り組みについて紹介する。

◆担当: エイズ学Ⅲ 岡田 誠治 教授/Prof. S. Okada (Dept. of AIDS Research Ⅲ)

◆レポート宛先/Essay (岡田教授宛/To Prof. Okada): okadas@kumamoto-u.ac.jp

◆レポート宛先/Essay (CC: 医学教務/Student Affairs Sec.): iyg-igaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp